

# 学びを生かし、よりよい社会を構築するための実践力の育成

～学校・家庭・地域がつながる人との協働を目指して～

## 1 研究のねらい

本部会では、地域の人々をつなぎ、協働する方法について考えることを大切にしながら授業実践を行ってきた。中学生になると日々の慌ただしさから、「自ら地域の活動に参加しよう」という意識が薄くなる傾向がある。そこで、地域との関わり方を考え、さらに自分で課題を見つけ、地域とのつながり方について主体的に考えられるような授業研究を進めてきた。

### 目指す生徒像

- 地域の良さを再認識し、地域の一員として、主体的に地域の人々と協働する生徒
- 高齢者や地域の人々を、様々なことを学ぶ人生の先輩として尊敬の念をもってかかわることができる生徒

### 学習計画 【題材名 地域での協働をめざして】

時数	学習課題と活動
1	地域を見つめ直し地域とのかかわりを考えよう ・「かがやき宣言」を考える。
2	地域に住む高齢者について知ろう ・高齢者疑似体験、介助体験をし、高齢者とのかかわり方を考える。
3	地域のために活動している人々を知ろう ・「かがやきピト」を紹介し合う。
4	「かがやきピト」の思いを知ろう ・中学生が地域のためにできることを考える。
5	自分の地域を見直そう ・「かがやき宣言」を再検討する。 ・自分だけの「かがやき宣言」を作り実践する。
6	「かがやき宣言」を見直して自己評価をする。 ・「かがやき宣言」を検討、追加をする。

## 2 研究の内容 授業実践

### 気付き・課題設定

地域は何のためにある？

- ・自分たちの住む地域を知る
- ・地域をよりよくするために中学生ができること、「かがやき宣言」を考える
- ・地域に暮らす多様な人、様々な立場の人に目を向ける
- ・「高齢化」の現状から高齢者体験の実施

中学生に何ができる？

普段からのつながりやかかわりの必要性を感じる・・・



- ・地域のために活動している人、「かがやきピト」を探し、情報を共有

### 構想・計画

改めて、地域にはいろいろな人がいるのだな

- ・「かがやきピト」と出会い、活動に対する思いを知る



中学生だからこそ、期待されていることもあるのだな

- ・「かがやき宣言」を見直し、地域の一員として協働できることを再検討

### 実践・提案、省察

毎日できることはあるだろうか？

- ・自分たちの「かがやき宣言」を実践する
- ・「かがやきピト」と共に地域のためにやってみよう

## 3 研究のまとめ

- <成果> ・地域の良さを再認識し、地域への感謝の気持ちが高まった。  
・総合的な学習の時間との連携、地域の教材開発ができた。

- <課題> ・地域のなかで継続して実践し、3年間での変容をどのように評価していくとよいか。  
・「幼児との関わり」も含めた、全題材の指導計画の検討も必要。

○本大会の授業実践に至るまでの足跡  
～地域の人とのつながりを考える授業～



【お茶の入れ方を教わる】

学校運営支援員さんが茶道師範の資格を持っていた！

高齢者が生活の中で困ることは？



【社会福祉協議会の方から学ぶ】



【コミュニティーセンターへ訪問】

自分の地区の

「助ける」だけでなく、「共に」の視点も！



【高齢者と共にできることを提案】